

## 第2回 江戸街道プロジェクトアドバイザー会議

### 議事次第

日 時：令和5年10月25日（水）

10時00分～11時30分

場 所：オンライン（Microsoft Teams）

1. 開 会
2. 関東運輸局長挨拶
3. 取組状況の中間報告
  - (1) 第1回会議の振り返り
  - (2) これまでの取組
    - ・「街道観光シンポジウム」の開催（7月）
    - ・街道観光「実践オンラインセミナー」の開催（8月）
    - ・「伝説や逸話をコンテンツとした地域誘客促進企画」調査業務（8月）
  - (3) 今後の取組予定
    - ・アプリを活用した街道観光への誘客・周遊促進に関する実証事業
    - ・街道観光プラットフォーム（仮称）構築による街道観光振興への効果検証事業
    - ・「アルベルゴ・ディフーズ（分散型宿泊）」による地域活性化の取組
    - ・江戸街道観光を促進するための専門家マッチング事業
    - ・「江戸街道、料理で伝える歴史と文化の旅」事業
    - ・JiF 国際観光立国フォーラム in Tokyo 2023 の共同開催
4. 意見交換
5. 閉 会

#### 【配付資料】

- ・ 議事次第
- ・ 出席委員名簿
- ・ 資料1 第1回会議の振り返り
- ・ 資料2 これまでの取組
- ・ 資料3 今後の取組予定

第2回 江戸街道プロジェクトアドバイザー会議 出席委員名簿

(順不同・敬称略)

役職等	氏名	備考
筑波大学 名誉教授	石田 東生	欠席
(公社) 日本観光振興協会総合研究所 顧問	丁野 朗	
(株) リクルート地域創造部 部長	高橋 佑司	
(株) 三菱総合研究所 主席研究員	宮崎 俊哉	
跡見学園女子大学 兼任講師	山崎 まゆみ	
実業家	ルース・マリー・ジャーマン	
(特非) 全国街道交流会議 専務理事	古賀 方子	
足立成和信用金庫 理事長	土屋 武司	
(一社) 日本ウオーキング協会 事業統括専務理事	井上 成美	
(一社) 関東広域観光機構 専務理事	小堀 明夫	
国土交通省 関東運輸局長	勝山 潔	

内容	対応状況
<b>1. 江戸街道プロジェクト全般に関するご意見</b>	
各宿場町では様々な取組も行われているが、同じテーマでやっているところの成功事例をプラットフォームに集めるなど、それぞれの地域の点での活動を線にしていくことが必要ではないか。そうした地域を繋ぐ役割は誰に求めるのか。	ご意見を踏まえ、地域を繋ぐツールのひとつとして、地域の点での活動を類似のテーマや地域ごとに整理し、線として紹介できるようなプラットフォームの構築を予定しております。そうした地域を繋ぐきっかけづくりは、運輸局の役割と考えております。
176の調査結果もあるので、ビジネスとしてうまく展開していける地域づくり、事業者を巻き込みながら持続化できるかが重要。	176の街道関連の取り組みについては、「街道を活用した広域関東の新たな観光振興策の調査検討業務」として7月に公表を行いました。
具体的に何をどういうふうにするのか。江戸街道と言っているだけではブランディングにならない。	具体的な切り口として、今年度より江戸料理と分散型宿泊に取り組んで、それらをリーディングケースとして、各地における点の取組を線としていくことが、ブランディングに繋がるものと考えております。
KPIやKGIなど、何を指すかゴールを決めた方がよい。	KPIやKGIの設定については、江戸料理と分散型宿泊といった具体的な取り組みの状況を見ながら設定していくことを考えております。
<b>2. 実証事業（江戸街道アプリ（仮称））に関するご意見</b>	
インバウンド向けならば、Visit Japan Webのような、必ずアクセスするようなものとの連携をする等の工夫をしなければならない。世の中で使われている様々なサイトと、どう連携できるかが大事。既存のアプリの高度活用のために何ができるかを考えることや、維持管理の仕組みを考えることも大事。	アプリについては、将来の導入検討につながるよう、有効性と導入促進に資するデータを回収するための調査を実施することとしております。現在、既存のアプリをベースとした検証用アプリを開発し、11月の実証開始に向けて準備中です。
<b>3. プラットフォーム制作に関するご意見</b>	
地域の人々が動くのだから、地域の人に火がつかないと事業が進んでいかない。そういう地域を増やしていくためのプラットフォームでもある。	今年度においては将来的にあるべきプラットフォームの姿を描くため、検証用サイトを作成し、地域の観光関係者や旅行者に利用してもらう予定です。また、各々のニーズに沿うものかヒアリング調査を行い、今後拡張が求められる機能について検証する予定です。
<b>4. 江戸料理に関するご意見</b>	
江戸料理も含めて、地元の特産品なども取り上げて、江戸街道で何が体験できるかを整備したらどうか。	江戸料理や当時の歴史と文化を体験できるコンテンツやツアーを造成する「江戸街道、料理で伝える歴史と文化の旅」事業を実施予定です。
江戸料理の定義もしっかり考えるべき。	江戸料理の研究者の方から知見をお借りして「江戸料理の定義付け」も実施できればと考えているところです。
今迄の一都十県プロジェクト、176の調査結果の中でもそういう取組が既にあるのかも探り、その事例も紹介できるといい。	176の調査結果のうち、食を切り口とした事例等について、本事業で実施予定のセミナーやPRイベントも活用しながら紹介できればと考えております。
<b>5. ポスターに関するご意見</b>	
・地元の人、自治体にも受けるような目線を考えて落とし込む必要がある。 ・英語を入れるなら、完璧な英語表記に気をつけるべき。	プロジェクトとロゴの周知のためのポスターとして、ロゴマークをメインとしたシンプルなデザインのポスターを作成しました。

- ・「街道観光シンポジウム」の開催（7月）
- ・街道観光「実践オンラインセミナー」の開催（8月）
- ・「伝説や逸話をコンテンツとした地域誘客促進企画」調査業務（8月）

『めぐる、あるく、つながる～現代に受け継がれる江戸文化の再発見～』と題し、街道観光シンポジウムを開催。本シンポジウムでは、プロジェクトの進捗状況の報告のほか、プロジェクトを具体的に進めていくテーマとして「江戸料理」と「アルベルゴ・ディフーズ」に関する基調講演とパネルディスカッションを実施した。

## 開催日時

日時：令和5年7月7日（金）14：00～16：30  
場所：リクルートGINZA8ビル  
開催形式：現地・オンラインのハイブリッド形式で開催

## 協力・後援

協力：一般社団法人 中央区観光協会  
後援：公益社団法人 日本観光振興協会 関東支部  
日本政府観光局（JNTO）

## プログラム等

1. 主催者挨拶 関東運輸局長 勝山 潔
2. 江戸街道プロジェクトの紹介 関東運輸局 観光部
3. 基調講演
  - (1)「錦絵（浮世絵）にみる江戸時代と江戸料理」  
（株）時代村 事業戦略室 室長 佐藤 達雄 氏
  - (2)「宿場町のアルベルゴ・ディフーズ化戦略  
～地域連携とインバウンド集客の進め方を中心に～」  
（一社）日本インバウンド連合会  
理事長 中村 好明 氏
4. パネルディスカッション  
江戸料理と宿場町の活用による街道観光振興に向けて

### <コーディネーター>

丁野 朗 氏 （公社）日本観光振興協会 総合研究所 顧問

### <パネリスト>

山崎まゆみ 氏 跡見学園女子大学 兼任講師  
高橋 佑司 氏 （株）リクルート 地域創造部 部長  
佐藤 達雄 氏 （株）時代村 事業戦略室 室長  
中村 好明 氏 （一社）日本インバウンド連合会 理事長  
岡村 清二 氏 関東運輸局 観光部長

## 登壇者



<基調講演 左：佐藤氏、右：中村氏>



<パネルディスカッション>

## 会場の様子



<会場全体>

## 参加者

会場参加者	：	91名
オンライン参加者	：	134名
合計	：	225名

昨年度、江戸街道プロジェクトの取組の一環として、地域資源の見つけ方とその磨き上げ等、街道観光に関する基本的な内容から始まり、地域における組織作りと運営、必要な資金の確保・運用という比較的専門的な内容について実践セミナーを開催した。

本年度は、実践セミナーの第2弾として、昨年度から継続する内容を意識しつつ、より発展的に「多様な主体の参画」につながる内容を学ぶ機会を加えることで、街道観光に取り組んでいく地域での人材育成や取組展開の一助とすることを目的に開催した。

	開催日	テーマ	講師
第1回	8/2(水)	人口増が期待できない時の地域づくり ～地域の成り立ちに樹った文化のネタを見出す～	大下 茂 氏 帝京大学経済学部 観光経営学科 教授
第2回	8/10(木)	仲間をつくろう ～志の募り方とむすび方～	
第3回	8/22(火)	行動計画をもとう・つくろう ～シナリオの描き方と動かし方～	大下 茂 氏 今野 久子 氏 帝京大学経済学部 帝京大学経済学部 観光経営学科 教授 観光経営学科 准教授
第4回	8/24(木)	明日からできる！ 地域の多様な主体者が連携し、事業成功に導く 「とっておき」の法則	高橋 佑司 氏 株式会社リクルート 旅行Division 地域創造部 部長

申込者数	
第1回	132名
第2回	124名
第3回	134名
第4回	140名
合計	530名

主な参加者
◇DMO・観光協会
◇民間事業者
・公共交通事業者
・旅行会社
・宿泊事業者
・銀行 等
◇大学関係者
◇国・地方公共団体

- 参加者の声（事後アンケートより抜粋：全4回）
- ◇ 人口問題というこれまで歴史上直面したことがないイメージがありますが、歴史の話を適度に織り交ぜていただくことで、解決策を探るヒントになったと思います。
  - ◇ 観光事業を進めるには、地域等の連携が必須となるため、大下先生がお話しされた仲間の作り方が参考になった。
  - ◇ 行動計画のうち、役割を決めることの重要性を認識できた。
  - ◇ 事例の中で観光地の通過地点という内容に私どもの類似点が多くあり、今後の課題解決の上で目的や目標に向け、異業種での横断的ワーキングの重要性を理解することができました。

セミナーの様子

大下 茂 氏      今野 久子 氏      高橋 佑司 氏

街道沿いには、いにしえより語り継がれたその地域における伝説や逸話が数多く残っている。そうした伝説や逸話は、その地域を訪れた旅行者にとって魅力的なコンテンツであり、特に日本の歴史や文化に興味ある欧米豪を中心としたインバウンドの誘客促進に有効に働いているものと考えられる。本調査業務では、各地域に伝わる伝説や逸話を使ったインバウンド向けツアーを実施して、その効果を検証するものである。

## 開催日時等

日 時：令和5年8月28日（月）～29日（火）  
両日各2回  
① 17:00～18:00  
② 19:30～20:30  
場 所：回向院（墨田区両国2-8-10）  
内 容：本所七不思議の英語による講談

## 出演者

講談師：神田ようかん氏  
三味線奏者：鶴澤弥々氏  
演 者：宮下幸生氏、鶴田彩氏  
演 出：田上ひろし氏  
（劇団スーパー・エキセントリック・シアター）

## 参加者

【開催回別】	【出身国別】	
8/28 ① 2名	イタリア	4名
8/28 ② 8名	フランス	4名
8/29 ① 3名	アルゼンチン	3名
8/29 ② 14名	メキシコ	2名
	ベトナム	2名
	アメリカ他10カ国	1名
	不明	1名
合 計 27名	合 計16カ国	27名

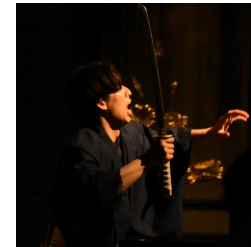
## 公演の様子



神田ようかん氏



鶴澤弥々氏



宮下幸生氏



鶴田彩氏

## 参加者の声

- 満足度 「非常に満足」・「満足」 : 97%
  - 有料で行う場合の適切な金額 1,000円～2,000円 : 59%
- （良い点）
- パフォーマンスのさまざまな要素の説明が非常にわかりやすく、伝統的な講談芸術を理解することができた。
  - 講談師の英語が聞き取りやすかった。
- （改善点）
- 演者の発音が必ずしも明瞭ではなかった。

## 今後の展開

今回の事例をモデルケースとして、来年1月から2月にかけて他地域において英語講談会を実施予定。10月中に公示予定。

- ・ アプリを活用した街道観光への誘客・周遊促進に関する実証事業
- ・ 街道観光プラットフォーム（仮称）構築による街道観光振興への効果検証事業
- ・ 「アルベルゴ・ディフーズ（分散型宿泊）」による地域活性化の取組
- ・ 江戸街道観光を促進するための専門家マッチング事業
- ・ 「江戸街道、料理で伝える歴史と文化の旅」事業
- ・ JiF国際観光立国フォーラムin Tokyo 2023 の共同開催



本実証事業では、アプリを活用した街道観光振興のニーズや有効性の検証、アプリの利用率を上げるための課題や改善点等を抽出するための調査を実施する。

既存アプリを参照した検証用の街あるきアプリを導入し、街道観光への誘客と周遊促進・消費拡大への効果およびその有効性を検証するとともに、実証で得られた結果を基に他地域へ横展開するための課題や方策を検討する。

## 実施概要

- ① 実証エリア：神奈川県 小田原市内  
協力連携：小田原市/小田原市観光協会/小田原まち歩き実行委員会
- ② 実証時期：令和5年11月8日(水) (予定) ~実証開始
- ③ ターゲット：年齢・性別・国籍問わず全ての方を対象に検証し、アプリが有効となるターゲット層を抽出・分析する。
- ④ 搭載機能 (予定)：右記載参照
  - 周遊促進コンテンツ  
観光スポット紹介/ 食のコンテンツ/ クーポン特典等
  - コミュニティ・ファンづくり  
投稿・写真共有機能/ フォトコンテストの実施等
  - エンタメ機能  
万歩計機能の搭載
- ⑤ 利用促進PR
  - 歴史人WEB等メディアでの告知
  - 現地での利用促進PR (観光協会、小田原城天守閣、観光交流センター、小田原宿なりわい交流館 他)

## ⑥ 効果検証

- 詳細な利用者データ・ログ分析 (アクセスログ解析)
- モニター調査 (モニターへの詳細ヒアリング)
- 利用者満足度調査 (利用者アンケート)

## ⑦ 次年度以降の他地域への展開と手法の検討

- ・横展開に向けた課題の抽出と導入ノウハウの提示

## 実装予定の機能

### コミュニティ

#### 旅行者参加型投稿機能

- ・旅行者が撮影した画像やコメントを、アプリで投稿・共有
- ・専用サイトへの掲載によるPR、地域の魅力発信
- ・フォトコンテスト開催による盛り上げ

#### いいねフォトサイト



#### 街道フォトコンテスト



### 周遊促進・消費拡大

#### 観光情報の配信・歴史・ストーリー紹介

- ・GPSの位置情報を参照し、近くの観光情報を自動で表示。
- ・周辺の食や観光情報だけでなく、お得なクーポン等を発信し、周遊・消費促進を促す。

### エンタメ

#### 万歩計機能

- ・街道を歩ききっかけや楽しみの創出

本検証事業は、地域の観光コンテンツやPRツール等を集約し、広域関東における街道観光の情報を一元提供できるプラットフォームの構築に向け、プラットフォームの基となる検証用のサイトを開発・運営し、インバウンドおよび国内旅行者の誘客と周遊促進に対する有効性を検証する。また、次年度以降の本格的なプラットフォームの構築・運用に向けた課題を抽出して、運営体制を含め具体的なコンテンツや方策を検証・整理する。

## 実施概要

### ① 検証用サイトの搭載予定コンテンツ

- ・江戸街道プロジェクトの概要案内ページ
- ・おすすめ情報抽出システム（システム等により情報を自動収集）
- ・各街道関連サイトの検索・リンク機能
- ・特集記事ページ
- ・ビジュアル・アーカイブの整備（街道の画像や映像のギャラリー化）
- ・コミュニティ機能（旅行者からの投稿機能など）

### ② サイト利用促進のための方策

- ・関連団体のHPやSNS等を入り口として、当サイトへ誘導するためのメディア戦略の構築、効果の検証
- ・検証用サイトを周知するためのプロモーション実施
- ・検索エンジンのSEO対策

### ③ 検証用サイトの効果検証

- ・サイト利用者を対象としたアンケートの実施

- ・アクセスログの分析
- ・街道観光振興への波及効果の把握
- ・本格運用に向けた課題の整理

### ④ 次年度以降の実用化に向けたプラットフォーム完成図の提示

検証結果を踏まえ、具体的なコンテンツ、デザイン、サイト運営・管理手法等の完成図を作成

## プラットフォームのデザインイメージ（参考：前年度作成）



〈トップページ イメージ〉



〈コンテンツごとの紹介ページ イメージ〉

# 「アルベルゴ・ディフーズ（分散型宿泊）」による地域活性化の取組①

## 趣旨

「江戸街道プロジェクト」を具体的に推進していくため、「アルベルゴ・ディフーズ（分散型宿泊）」をテーマに、空き家・古民家等を宿泊施設に活用して誘客促進し、地域の活性化を図る取組を推進していく。

令和5年度においては、来年度（6年度）以降に具体的な取組が進められるよう、対象となりそうな地域・意欲ある事業者の探索、関係者との連携や資金調達方法、今後の取組の進め方などを検討し推進していく。

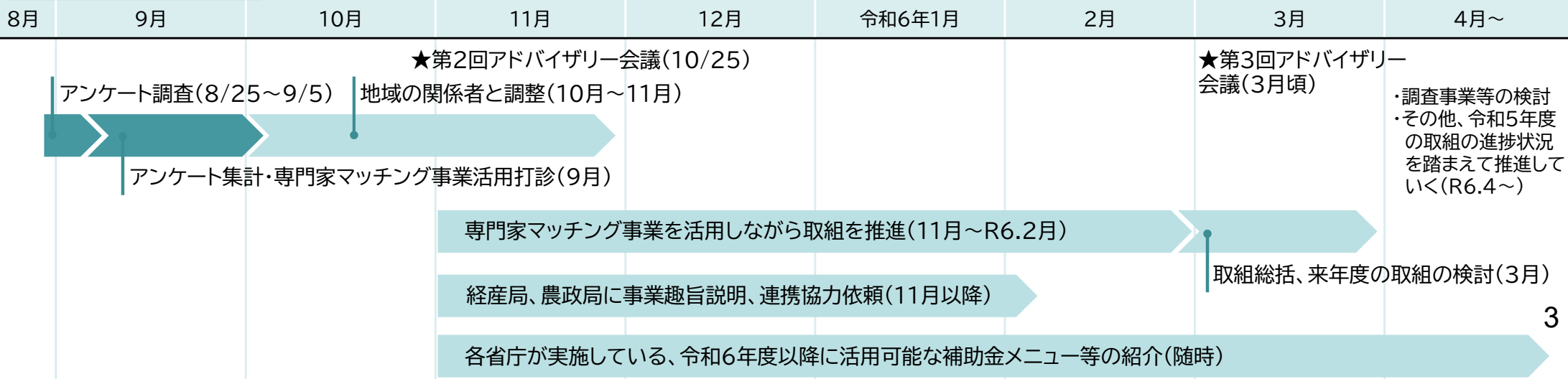
## 主な検討事項及び想定される課題

- 空き家・古民家等を地域一体として活用できる地域の探索
- 取組を進めていく意欲のある事業者の探索  
⇒対象となりそうな地域や事業者の情報が把握されていない
- 取組の進め方の検討
- 自治体、DMO、民間事業者、金融機関、地域住民等との連携  
⇒取組の進め方や地域での合意形成等が課題になると思われる
- 空き家・古民家の改修費等の資金調達方法の検討  
⇒資金調達等の方法が課題になると思われる

## 関東運輸局としての取組

- ◇情報収集のため広域関東(1都10県)のDMOにアンケート調査を実施  
⇒アンケート結果を参考に、取組を進めていく可能性のあると思われる地域のDMOに対して、取組を検討することを打診
- ◇当局が実施する「専門家マッチング事業」を活用しながら取組を推進  
・取組の進め方や資金調達方法について、専門家の意見を聴取  
・連携が必要となる関係者への呼びかけ、ワークショップの開催 等
- ◇経産局、農政局との連携
- ◇金融機関等との相談(出資・融資等)
- ◇各省庁の令和6年度以降に活用可能な補助金メニューの紹介

## スケジュール(予定)



地域の状況について情報収集を行うため、広域関東管内のDMOにアンケート調査を実施。その結果を参考に、アルベルゴ・ディフーズ（分散型宿泊）の取組を進めていく可能性があると思われる地域のDMOに対して、「江戸街道観光を促進するための専門家マッチング事業」を活用して取組を検討するかの希望を確認した。その結果、4つの団体から希望があったことから、今後、当該団体に対してヒアリングを行い、取組を支援する地域を選定していく。選定後は、専門家の方を交えながら重点的に支援・協力していく。

- 広域関東1都10件の地域連携DMO及び地域DMO（登録及び候補）に対してアンケートを行い、地域の状況について情報収集
- ◇対象団体数：78団体
  - ◇有効回答数：50団体
  - ◇回収率：64.1%
  - ◇主なアンケート内容
    - ・地域の主な観光資源及び想定するターゲット
    - ・地域の観光客の宿泊状況
    - ・宿泊施設を新たに整備する必要性を感じているか
    - ・分散型宿泊施設（アルベルゴ・ディフーズ）を知っているか
    - ・宿泊施設等に活用できそうな空き家等の有無
    - ・分散型宿泊施設の取組検討状況
    - ・想定する場合の想定エリア、課題、懸案、知りたいこと 等

アンケート集計後、分散型宿泊施設の取組検討状況の質問項目に対して、

- 「検討はされているが、整備には着手されていない」
- 「今後は、検討する事業者があれば関わっていきたいと考えている」
- 「今後は、DMOが主体となって検討・整備を進めていきたいと考えている」

のいずれかを選択した関東管内のDMO21団体に対して、専門家マッチング事業を活用して取組を検討するかの希望を確認。

⇒ 4団体の希望あり

ヒアリングを実施（予定）

希望4団体（想定エリアはアンケートより抜粋）

非 公 開

街道観光を促進するうえで、各地域が抱える様々な課題を解決することを目的に、課題等に応じた専門家を派遣するマッチング事業を実施する。令和5年度は、「アルベルゴ・ディフーズ（分散型宿泊）」の取組について検討・推進する地域に対して、重点的に専門家派遣などの支援を行っていく。

## 【対象者】

- 広域関東圏内（※）の地方公共団体・DMO（登録、候補含む）・民間事業者等
- （※福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県）

## 【相談募集期間】

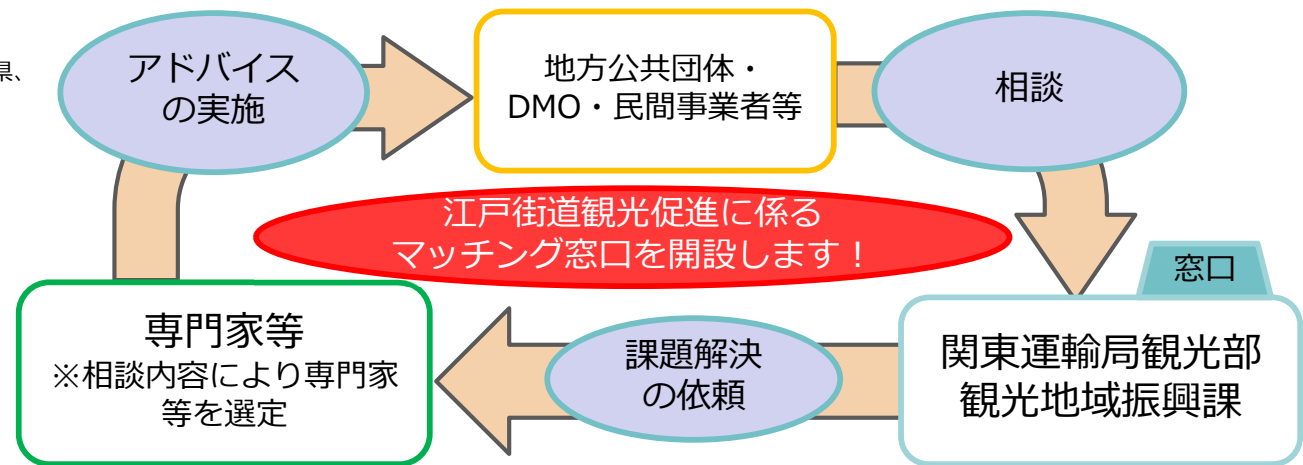
- 令和5年7月20日（木）～10月31日（火）  
（相談後のマッチングは11月以降も実施）

## 【専門家】

- 相談内容に応じて関東運輸局が選定

## 【対象となる相談内容】

- 江戸街道の観光全般に関する事項
  - ・観光資源の磨き上げの手法
  - ・PR手法やマーケティングに関すること
  - ・地域関係者のまとめ方 等



## 重点支援

「アルベルゴ・ディフーズ（分散型宿泊）」の取組について検討・推進

取組可能性のある地域に対して、当局から打診・協議を行い、関係者への声かけ、ワークショップを開催する等、当事業を複数回活用しながら重点的に取組を支援していく。

## 目的

江戸料理をテーマとしてその魅力や歴史にクローズアップし、外国人観光客に向けた新たな観光コンテンツとして活用。広域関東エリアにおける消費額拡大や高付加価値なコンテンツ造成の推進を図る。



(板垣家住宅主屋)

## 事業内容

### (1) 江戸料理と歴史的資源を活用したコンテンツの造成・モデルツアーの実施

江戸料理を広く周知するため、江戸料理を通してそこでしか触れることのできない当時の歴史と文化を体験するコンテンツを造成。国の有形文化財に登録された「和食 板垣」(足立区北千住)において、江戸料理研究家と連携し江戸料理のメニューを開発。その後、宿場町(千住)を周遊するインバウンド向けモデルツアーのなかで、開発した江戸料理を提供する。

### (2) 江戸料理のプロモーションツールの制作

江戸料理と歴史的資源を活用したコンテンツを世界的な価値まで高めるブランディングや誘客促進のため、江戸料理の魅力伝える動画を制作するほか、効果的な情報発信施策を実施。

### (3) 江戸料理のセミナー・PRイベントの実施

本事業で企画した「歴史的資源を活用した江戸料理の提供」を具体的に展開していくため、(1)の事業実施後に観光関係者・マスコミ向けに、江戸料理に関するセミナー及びPRイベントを実施。

セミナーは、江戸料理研究家の協力をいただきながら、江戸料理の勉強会を兼ねた形式で実施することとし、PRイベント(中央区観光協会との連携を想定)では、インフルエンサー等を招請し、江戸料理を実際に体験してもらい、江戸料理の魅力をSNS等で発信をしてもらうことを想定している。

### (4) 二次交通に関する協議・提案

コンテンツ造成・モデルツアーを実施する地域が最寄駅から遠距離である等の事情により二次交通対策が不可欠な場合、必要に応じて地元自治体やDMO、交通事業者との協議を実施し、旅行者がストレスフリーで移動できる交通環境の整備を提案する。

## 事業の流れ(予定)

コンテンツ造成  
モデルツアー造成  
12月中旬

江戸料理セミナー  
PRイベントの実施  
1月下旬

プロモーション  
ツールの制作  
2月上旬

## 連携先(予定)

- 江戸料理 「奈美路や」
- 足立成和信用金庫
- 中央区観光協会
- 各自治体・観光協会 等

## 目的

インバウンド関係者への江戸街道プロジェクトの認知度向上と機運醸成、ネットワーク強化を図るため、「インバウンド大復活！地域分散化戦略と観光DXの未来を考える～街道を活用した観光とともに～」と題したフォーラムを（一社）日本インバウンド連合会（JiF）と共同開催する。

## 開催概要

日時：令和5年11月16日（木）10：00～17：25  
 場所：ハリウッド大学院大学  
 開催形式：現地・オンラインのハイブリッド形式

## 共催・後援

共催：一般社団法人 日本インバウンド連合会、  
 関東運輸局、ハリウッド大学院大学  
 後援：一般社団法人 関東広域観光機構、  
 日本政府観光局（JNTO）、東京都港区

## プログラム

### 午前の部（専門部会）

第一セッション「ツーリズム&医療・多文化コミュニケーション・地方誘客戦略」

宮崎 俊哉 氏（江戸街道プロジェクトアドバイザー委員）他

第二セッション「地域の魅力発信と観光DX戦略」

高橋 佑司 氏（江戸街道プロジェクトアドバイザー委員）他

### 午後の部（総合セッション）

基調講演①「街道を活用した観光について」

土屋 武司 氏（江戸街道プロジェクトアドバイザー委員）

基調講演②「建築遺産を活用した街おこし計画～千住の大橋眼科プロジェクトの挑戦～」

阿部 朋孝 氏（株阿部養庵堂薬品社長）

基調講演③「村や沿線を”まるごと”ホテルに見立てる分散型ホテルの事例紹介」

嶋田 俊平 氏（株さとゆめ代表取締役社長）

基調講演④「アフターコロナ期の観光立国の進め方」

（一社）日本インバウンド連合会 理事長 中村 好明 氏

特別シンポジウム①「インバウンド需要の地域分散化戦略～街道観光振興を中心に」

土屋 武司 氏（江戸街道プロジェクトアドバイザー委員）他

特別シンポジウム②

「量（訪日客数）から質（真の日本ファンづくりと高付加価値化へ）への転換」

岡村 清二（国土交通省 関東運輸局観光部長）他

## 参考資料



**JiF 国際観光立国フォーラム in Tokyo 2023**  
 インバウンド大復活！地域分散化戦略と観光DXの未来を考える  
 ～街道を活用した観光とともに～

日時：2023年11月16日（木）10：00～ 定員：300名  
 場所：ハリウッド大学院大学  
 東京港区六本木6-4-1 六本木ヒルズハリウッドビューティプラザ内  
 5F ハリウッドホール  
 ＊リアル開催とZoomによる同時中継（ハイブリッド）

共催：一般社団法人 日本インバウンド連合会  
 国土交通省 関東運輸局、ハリウッド大学院大学  
 後援：一般社団法人 関東広域観光機構、  
 日本政府観光局（JNTO）、港区

**午前の部 専門部会 10:00～12:10**

09:30 開場、10:00 スタート  
 10:00～12:10

総合司会：佐々木 西 氏 JiF 幹事会運営委員 / ビジネス所属  
 総合司会：中村 好明 氏 日本インバウンド連合会 (JiF) 理事長  
 挨拶：中村 好明 氏 観光庁観光地域振興部 部長  
 挨拶：高橋 佑司 氏 港区長

**第1セッション 10:15～11:05 (50分)**  
**ツーリズム&医療・多文化コミュニケーション・地方誘客戦略**  
 挨拶 奥野 美則 氏 株式会社エムインテグラル社長補佐  
 挨拶 松岡 豊 氏 三井住友海上火災保険 企業総務推進部 部長  
 挨拶 邦夫 氏 一社流通観光協議 理事 広報担当  
 (株)イウィルジャパン 代表取締役  
 宮崎 俊哉 氏 株式会社総合研究所 主席研究員  
 江戸街道プロジェクトアドバイザー委員

**第2セッション 11:15～12:05 (50分)**  
**地域の魅力発信と観光DX戦略**  
 挨拶 山田 慎昭 氏 NECソリューションイノベータ  
 挨拶 大瀧 雄介 氏 一社JACK代表  
 挨拶 高橋 佑司 氏 JiF 幹事会 / ビジネス所属  
 挨拶 丸山 隆行 氏 旅行DX地域創造部 部長  
 挨拶 江村 裕之 氏 江戸街道プロジェクトアドバイザー委員

●フアンリーター  
 挨拶 長嶋 氏 JiF 副幹事長 / グローバルマインド社長

●ファシリテーター  
 挨拶 北野 彩 氏 JiF 副幹事長代行  
 BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONS 部長

NECソリューションイノベータ 山田 慎昭 氏  
 一社JACK 大瀧 雄介 氏  
 JiF 幹事会 / ビジネス所属 高橋 佑司 氏  
 旅行DX地域創造部 部長 丸山 隆行 氏  
 江戸街道プロジェクトアドバイザー委員 江村 裕之 氏  
 JiF 副幹事長 / グローバルマインド社長 長嶋 氏  
 JiF 副幹事長代行 北野 彩 氏  
 BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONS 部長

**クロージングトーク 12:05～12:10 (5分)**  
 午後の部の詳細は裏面へ